



拳法会ニュース

5 th May 2008
世界拳法会連盟
International Kenpo Kai Organization



第1回大橋杯国際拳法選手権大会 in ネパール 1st Ohashi International Kenpo Championship in Nepal

ネパールのポカラ 4月26日予選、27日決勝)で第1回大橋杯国際拳法選手権大会が開催された。4月26日には、国際武道研究会も開催された。



優勝Champion
一般男子 キリシナ・ラマ
女子 レビカ・セルプンサ
少年 低) ノレス・アレ
少年 高) キスナ・グルーン



ポカラ勢が圧倒的強さで優勝を独占した。
ポカラは、日本軍とビルマなどで激戦を展開した
勇猛なグルカ兵の子孫が多くいます。



ヨーロッパ拳法会は、Nabarra (ナバラ)で演武会

5月1日ナバラで演武会を行いました。試割り、乱取り、演武がテレビ中継されました。



礼節を尊び！信義を護り！
黙想ののち行われ会場は、
超満員であった。

会員募集！



国士舘大学中島彥木教授 (左)
護身術講座 (浜松佐鳴台公民館)

ネパールでのセミナーの講演テーマ 武徳と礼節・武道の起源と歴史

講師：大橋千秋

偶然にも帰国の飛行機の中で東京五輪柔道金メダリストアントン・ヘーシンの記事を読む。

大橋千秋講師は、約千五百年前からの日本武道の発祥から今日までの歴史を説明しその中で培われた「神道」「仏教」哲学が基になり形成された武士（サムライ）の哲学である「武士道」について講義をした。質疑応答が熱心に行われるなか「札節」につき説明し東京オリンピック柔道金メダリストのアントン・ヘーシンの王者となったときの説明をした。王者たらしとするなら王者らしくふるまうべし」ヘーシンク氏が色紙に書いた言葉である。全くの偶然であった。



中島 亨木 (Takeshi Nakajima) 国士舘大教授 柔道七段 富士流柔術宗家 元オーストラリア警察士官学校教官 豪・NZ・ミクロネシア・EUなど日本武道を紹介普及！ 常勝牛島辰熊に師事しブラジル武道館建設に尽力！

